

た「働き方改革」は、朝から晚までの働きづめが横行していた働き方の転換点となつた。

2018年6月の通常国会で関連法が成立し、19年4月から大企業に残

制の導入で社内の雰囲気が一変し、以前は取りづらかった休みも気軽に取れるようになつたといふ。ただ「午後7時に強制的にパソコンの電源が切られ、仕事の成果とい

う。ただ「午後7時に強制的にパソコンの電源が切られ、仕事の成果といだ」とつぶやいた。

## 「特区奏功 人口減は加速」

### 地方創生

合掌造りの集落で知られる世界遺産の白川郷（岐阜県白川村）は2019年、過去最多となる約215万人の観光客が訪れた。第2次政権発足前の11年は130万人で、7割近く増えた。村役場で観光振興を担当す

安倍首相が辞任の意向を固めたことを伝える街頭ビジョン（28日、福岡市）

る男性職員は「インバウンド（訪日外国人）政策が功を奏し、地元経済が潤った」と評価する。状況は新型コロナウィルスの感染拡大で暗転。職員は「G.O.T.O.ト

ラベル事業」の混乱を念頭に「政策が二転三転すれば観光地が振り回される。国や自治体、事業者の対策が相乘効果を生む

よう、政治のかじ取りを期待したい」と話した。

福岡市中心部で進む再開発プロジェクト「天神ビッグバン」は、安倍政権が推し進める国家戦略

特区に認められ、ビルの高さ制限が緩和された。

街づくりに取り組む団体

の担当者は「地方創生と

地裁で審理中の特定危険

指定暴力団工藤会（北九

州市）トップで総裁の野

村悟被告（73）の公判

被告（64）の公判の証人

被告（64）の公判の証人

の担当者は「地方創生と

地裁で審理中の特定危険

指定暴力団工藤会（北九

州市）トップで総裁の野

村悟被告（73）の公判

被告（64）の公判の証人